

柴田と札幌の暮らしの大きな違いは、何だと思います？人口？地下鉄の有無？交通量？ノンノン、そんなものはどうでも良いのです。その違いとはずばり「野菜と果物の価格が違い過ぎる」という点です。

野菜はぱんぱんに入ったピーマンが90円、ナスもこんだけ入って120円、みたいなことが我らがイトーチェンさんで当たり前に見掛けられるし、梨のシーズンの時は蔵王の直売所に行ったら、巨大な幸水が6個で1,000円とかで売られていて、僕はもう、昔からの夢だった「1日、果物だけで腹一杯になる」という、甘党の山賊のようなワイルドな夏を過ごしました。

そんな話を奥さんと電話で話していたときに、札幌のスーパーに行ったら桃が売られていた、という話を聞いたんです。

「そっかー、北海道はようやく桃の季節なんだね。いくらくらいするの？」と訊いたら「えーとね、2個でイチキュッパ」と言われたわけです。

「え、うそ？うーわ、めっちゃ安いじゃん。桃好きなんだからいっぱい買っちゃいなよ」と僕が言うと「え？」と奥さんが言うわけです。

「え、ってなに？だって、2個で198円なんでしょ？買った方が良いよ」と言ったら、「違うよ、桃が2個で1,980円だよ」と言われ、僕は驚き過ぎて膝がガクガクし、腰を抜かしたわけです。

「いや、そんな無茶な価格設定、誰も買わんでしょ」と言ったら、もちろん飛ぶように売れてはいないけど、そこそこ売れてるみたいだよと言うので、この前、蔵王の桃の直売所でキズものとして10個で1,000円だった桃のことを考え、やっぱり僕は、札幌より柴田の方が断然良いわと思ったわけです。

そんな出来事がありながら、9月の初旬に奥さんが住む札幌の家に行ってきました。

まずは朝、奥さんを起こして朝食を作り、そのまま昼の弁当を作ります。仕事に行くのを見送った後にパソコンとiPadでデザインの仕事をして、夕方から晩御飯の仕込みをし、奥さんが帰ってくる時間を見計らって鍋でお米を炊いて、あとは薄暗い部屋でじっと待つ、という忠犬のような1週間を過ごしてきました。

ただ、僕は決して料理が上手いわけじゃなく、『極貧生活が長過ぎて自炊せざるを得なかった』という種類の料理を作るんですが(どんな種類だよ)、どちらかというちのの良い奥さんとしては、僕が作る安っぽい料理がちょっと新鮮らしく、カレーやらパスタやら煮込み料理やらを作ると喜んでくれるのです。

その任務を終えて柴田に戻ってきて、帰り道にそのままスーパーに買い物に行くと、札幌とは全然違う野菜や肉の価格を見てニヤリとし、また静かにキッチンで、一人焼き鳥を楽しんで、何やら暮らしております。

## 今月の「ありがとうございます」

前号でも告知させて頂きましたが、船岡の「さくらの里」さんと、槻木の「ほっとファーム」さん、それと弊社のオンラインストア「トリノネストア」で、お米と蜂蜜の販売をスタートさせて頂いています。

想定よりもご購入頂ける方が多く、ほぼ売り切れの状態となりました。ご注文頂いた皆様、有難うございました。次回から蜂蜜のパッケージを↓のものに変更します。

このミツバチの名前は…、えーと、ハッチョです。



お米や蜂蜜といった、元々柴田で作られていたものを新たにパッケージを変えて販売していますが、それ以外にも何か出来ないかなと思って、一人で謎のスパイス作りをしています。

これがなかなか面白いし、商品化出来そうなんです。あとは、農家さんとタイアップさせて頂いて、長期的な視野で名産となるような農作物を作りたいなと思っているので、来年からは休耕地とかで作物を育てたいなと、ふわふわしとります。

- 編集後記 -

D山、45歳。遂に、なのかはわかりませんが、完全に老眼が始まりました。

「そもそも老眼ってなに？」と思っていたんですが、近くのものを見るとききのピントが合わなくなることに気付き、眼鏡をかけたり、かけなかったりする毎日です。若いみんな、おっさん臭い話だと思ってるんでしょう。ふん、すぐにみんなもそんな年齢になりますからね。

トリノネの Instagram → id : torinone.store

トリノネ新聞の設置場所一覧（敬称略）

柴田町役場 2階、しばたの未来（株）、仙台銀行船岡支店、ほっとファーム、アウトドアーズマン、柴田町の4つの郵便局、ナルミキッチンラボ、仙台大学

発行者：柴田町地域おこし協力隊 山田和史

ご感想やご依頼などは ⇒ [info@torinone.com](mailto:info@torinone.com) へ  
オンラインストア ⇒ <https://www.torinone.com>



先月、「シバタヌキの今後の展開、楽しみにしています」と何名かの方に気にして頂きまして、こっそりとグッズの開発みたいなことをしています。

未だにこういったタッチで進めていこうか迷ってはいるんですが、まずはポストカードを10種類くらい作ろうと思って、夜な夜な絵を描き、ストーリーのようなものを作っているところです。この感じだと10月の半ばとかには販売開始出来るんじゃないかなと思っています。最終的な着地点としては、絵本という媒体にしたいなと思ってまして、素材となる絵を書き、僕なりに「こんな感じ」と思っている背景を練り練りしながら、せっせと物語を作るといのもなんだか楽しくて、スマホに何やらをメモしているという日々です。

あと、10月12日に槻木生涯学習センターで開催される「槻木市場」のポスターのデザインをさせて頂きました。イラストメインのゆるいポスターですが、10月くらいから主に槻木で見て頂く機会があるかと思うので、ちらりと見て頂ければ、これ幸いです。

### 同僚のおふたり



リンリンと、某所にある蔵の整理をさせて頂いています。

どんな使い方をするのかは、まだふわっとしていますが、柴田町のいろんな場所でスポット的にイベントが出来たらなあと思っています。

空き家対策の林くん 0224-54-2111 まちづくり政策課



10/5(土)は柴田町地域福祉センターの「福祉まつり」。そして10/6(日)は城址公園の「はらから祭り」に司会として参加するそうです。どこに居るのかな？と思ったら、黄色い何かを身に着けている人を探しましょう。もし居たら、それがゆずさんです。

芸人のゆずさん

ゆずさんの  
SNS 達

